

医危第6250号
令和4年11月16日

神奈川モデル認定医療機関 院長 殿

神奈川県知事 黒岩 祐治
(公 印 省 略)

病床確保フェーズの引上げについて（要請）

日頃から本県の感染症対策に格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、11月9日に開催した神奈川モデル認定医療機関連絡会議で、病院ごとの柔軟な病床確保の運用をお願いしたところです。

認定医療機関の皆様の御尽力により、即応病床数はフェーズ「2」相当の確保病床数（1,300床）まで拡大しました。一方、入院者数は11月15日には878人まで急増しています。

今後も、入院者の増加が見込まれることから、特に入院者数が増えている中等症及び軽症の病床のみ、フェーズを「1」から「3」に引き上げることを決定しました。

つきましては、フェーズ「3」の確保病床数まで即応病床を拡大していただきますようお願いします。

なお、病床確保料の算定にかかる即応病床使用率においては、フェーズ「3」に引き上げてから2週間は、拡大した病床部分について即応病床使用率の対象から除外できることを申し添えます（kintoneには実際の空き病床数及び入院者数を御入力ください）。

また、本日開催された新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、レベル分類の見直しと最大確保病床数の変更が決定されましたが、こちらについては、別途通知する「レベル分類の見直し及び最大確保病床数の変更について（通知）」（医危第6251号）を御参照いただきますようお願いします。